

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地		
専門学校 未来ビジネスカレッジ		昭和61年10月30日	千村 重平		〒390-0841 松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500		
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地		
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日	理事長 青山 織人		〒390-0841 松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500		
目 的	<p>本校は、学校教育法及び専修学校設置基準に基づき、高等学校における教育の基礎の上に、職業もしくは实际生活に必要な技能と教養の向上を図るため、情報ならびに経営に関する専門的な教育を行い、社会の発展に寄与できる優秀な人材を育成することを目的とする。</p> <p>ペットライフケア学科では、日本ビジネススクール協会認定のトリマー1級を筆頭に動物に関する各種資格取得を目標とし、実習を中心に人と動物の関わりに関連するあらゆる知識と技術を身につける。また、コンピュータ操作やビジネスコミュニケーション能力の習得にも努め、ペット業界のスペシャリストを育成するとともに良識のある社会人を目指す。</p>						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程	ペットライフケア学科		平成23年12月22日 文部省告示第167号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 62	講義	演習	実習	実験	実技
	2年		昼間	18	8	55	-
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	総教員数
60人		42人		2人		3人	5人
学期制度	■前期：4月1日～9月24日 ■後期：9月25日～3月31日			成績評価		■成績表：有	
長期休み	■学年始め：4月10日 ■夏 季：7月26日～8月20日 ■冬 季：12月20日～1月9日 ■春 季：2月24日～4月8日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件		■進級条件：なし(単位制)	

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制「有」</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類</li> <li>学校祭、スポーツ大会(年1回)</li> <li>運動会(年1回)、ドッグショー見学</li> <li>ペット業界見学会(年1回東京)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■長期欠席者への指導等の対応</li> <li>①担任教員の個別面談、学生への電話、メール</li> <li>②担任教員の保護者連絡、保護者面談</li> <li>③学校長・副校長・学部長面談</li> <li>④個別カウンセリング(外部連携)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■サークル活動：有</li> </ul>
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主な就職先</li> <li>ペットショップ、動物病院、ペット美容室等</li> </ul>	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■トリマー検定1、2級</li> <li>■愛玩動物飼養管理士2級検定</li> <li>■GBP(ドッグトレーニング)検定</li> <li>■サービス接遇検定</li> <li>■文書デザイン検定</li> <li>■ワープロ検定</li> <li>■表計算検定</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■就職率<sup>※1</sup>：95%</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup>：95%</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■その他</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(平成29年度卒業者に関する平成30年3月31日時点の情報)</li> </ul>		
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学者 1名 ■中退率 2.4%</li> <li>平成29年 4月 1日在学者 42名(平成29年4月入学者を含む)</li> <li>平成30年 3月31日在学者 41名(平成30年3月卒業生を含む)</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中途退学の主な理由</li> <li>学校不適合(自律神経失調症による、不登校)</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中退防止のための取組</li> <li>①担任教員の個別面談、学生への電話、メール</li> <li>②担任教員の保護者連絡、保護者面談</li> <li>③学校長・副校長・学部長面談</li> <li>④個別カウンセリング(外部連携)</li> <li>⑤各種心理検査の活用</li> </ul>		
ホームページ	URL : <a href="http://www.mirai.ac.jp/mit">http://www.mirai.ac.jp/mit</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ペットライフケア学科に在籍する学生の主たる就業先であるペット業界において、学科の主たる目標であるトリマー職に求められる技術や知識だけでなく、トリミング技術以外に必要な知識や心得など、現場が期待する総合的な人材像を把握することは実践的な人材育成のために不可欠である。また、飼育や販売などトリマー職以外に就く学生もいることから、これらの職種に就くために有用な知識や技能ならびに人材像を把握することも同様に不可欠である。これらの職業に向けた人材育成のための授業方法や最適な科目構成を検討し改善するために、教育課程編成委員会を設置し、これを活用して業界企業等からの要請や最新動向などを学科の教育活動に十分に取り入れることを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 30 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
田中 利幸	一般社団法人 国際家庭犬トレーニング協会 東海支部長
小野 キミ子	Wonder House 経営者
清澤 美紀子	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 学科長
藤澤 由理	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 教諭

(開催日時)

- 第1回 平成26年 9月6日 16:10~17:15
- 第2回 平成26年 10月8日 15:00~16:00
- 第3回 平成27年 2月19日 15:10~16:30
- 第4回 平成27年 9月9日 12:40~15:00
- 第5回 平成28年 2月18日 16:00~17:00
- 第6回 平成28年 10月5日 14:00~15:00
- 第7回 平成29年 2月23日 16:00~17:00
- 第8回 平成29年 10月4日 14:00~15:00
- 第9回 平成30年 2月21日 16:00~17:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業・職業団体等が講師契約、または、施設実習協定を締結し、その連携のもと、ペット美容室、ペットショップ業界、あるいはトリミング併設の動物病院の人材育成ニーズに沿った実践教育の機会を提供する。さらにトリマー又は愛玩動物飼養管理・販売職としての職業観・勤労観を育み、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
ペット業界 演習	ペットサロン、ペットショップ、ブリーダー、ドッグトレーナーその他関連業界の実際について業界で活躍する方から直接知見を得る、あるいは現場を体験することによってペット業界の求める人材を知り、トリミング技術だけに偏らない広い視野を持った技術者をを目指す。	Wonder House 一般社団法人 国際家庭犬トレーニング協会 東海支部
ドッグトレー ニング基礎	犬の生態や行動について学習し、犬と人間との共生について考えるとともに、トレーニング方法を学ぶ。トレーナーとしての技術向上を測るため GBP 試験の合格を目指す。また、トリミング技術とともに、トリマー業務に欠かせない犬の取り扱い方法や、顧客に対するしつけのアドバイスをを行うための知識を身につける。	一般社団法人 国際家庭犬トレーニング協会 東海支部

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職務の遂行に必要な知識又は技能を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

このことは、以下のように就業規則第19条にも定められている。

「教職員は、その職務の遂行のため、自発的研修に励み、かつ、学校または各種団体の行う研修を受け、資質の向上に努めなければならない。」(細則については【添付1-3-1】参照)

ペットライフケア学科においては、最新の業界動向からのかい離や知識・技術の陳腐化を防ぐため、トリマー又は愛玩動物飼養管理・販売職に必要とされる実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される、関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成30年3月31日現在

名前	所属
伊藤 亮二	松本商工会議所 事務局長
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 准教授
澤田 友行	ナチュラル・サワダ 代表
荒崎 元徳	株式会社たちばな Web事業部 レンタル衣裳・COMチーム
山田 佳代子	ポアレスチュール 経営者
小野 キミ子	Wonder House 経営者
溝口 諒	でざいんと 経営者
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 放射線部 技師長
田中 優子	卒業生同窓会 会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit> 【情報公開】 ページ

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校ホームページ、広報誌等の刊行物、その他(卒業制作展、学科ブログ)

URL : <http://www.mirai.ac.jp/mit> 【情報公開】 ページ

授業科目等の概要

(商業専門課程 ペットライフケア学科)平成 29 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		情報リテラシー	パソコン OS の基本操作、インターネット活用、ワープロ、表計算、プレゼンテーション技法など、企業で多く活用されている Office 系ソフトの基本操作を習得し、検定取得を目標とする	1・2通	120	4			○	○		○		
	○		キャリアプランニング	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、履歴書作成、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する	1・2通	90	3	○			○		○		
	○		実務教養	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接客マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用 SPI 対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1・2通	180	6	○			○		○		
	○		総合演習	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	1・2通	90	3		○		○		○		
	○		犬種標準学	様々な犬種についての知見を広める。	1通	30	1	○			○		○		
	○		応用犬種標準学	様々な犬種の歴史や、スタンダードについて、幅広く学ぶ。	2通	30	1	○			○			○	
	○		飼育管理学	犬猫の飼育方法、形態、病気などに関する知識の習得。動物に関連する歴史や法律についての学習。引き続き、小動物に関しても同様に学習を行う。愛玩動物飼養管理士2級の受験対策を行う。	1・2通	60	2	○			○		○		
	○		ペット業界演習	ペットサロン、ペットショップ、ブリーダー、ドッグトレーナーその他関連業界の実際について業界で活躍する方から直接知見を得る、あるいは現場を体験することによってペット業界の求める人材を知り、トリミング技術だけに偏らない広い視野をもった技術者を目指す。	1・2通	30	1		○		○			○	○

(商業専門課程 ペットライフケア学科)平成 29 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験 実習 実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ペット美容学	トリマーとしての心構え。ペット美容の基礎知識、犬種ごとのスタンダード並びに、トリミング方法について学ぶ。トリマー検定の筆記試験に向けた受験対策を行う。	1・2通	120	4	○			○		○		
○			ドッグトレーニング基礎	犬の生態や行動について学習し、犬と人間との共生について考えるとともに、トレーニング方法を学ぶ。トレーナーとしての技術向上を測るためGBP試験の合格を目指す。	1通	30	1	△		○	○			○ ○	
○			ドッグクリエイティブ実習	レスンドッグを使用しての創作カット。実習犬を使用しての創作カット及びスタイルブックの作成。	2通	30	1		○	△	○			○	
○			トリミング実習	犬の扱い、道具の扱い、掃除、接客方法などの基礎技術の習得。グルーミング、トリミングの全身カットの基礎知識と技術の習得。トリマー検定2級の合格を目標に時間内での全般的なトリミング技術の習得。	1通	480	16				○	○		○	
○			上級トリミング実習	全身カットの技術を向上させ、受付から引き渡しまでのすべての工程をひとりで完璧にこなせることを目指す。トリマー検定1級の合格を目標にグルーミング・トリミングの総まとめを行う。	2通	480	16				○	○		○	
	○		飼育管理学演習	愛玩動物飼育管理士2級、ならびにトリマー検定のための試験対策を行う。過去問題、練習問題等の問題演習を主体に、必要に応じて解説を行う。	1・2通	30	1		○		○			○	
	○		ドッグライフケア演習	ドッグアロマ、ドッグエステ等、犬の心や体を健康に保つための知識や技術について学ぶ。	1・2通	60	2	△	○		○			○	
	○		ドッグウェアデザイン実習	犬の洋服をデザインし、制作する。	1・2通	60	2				○	○		○	

(商業専門課程 ペットライフケア学科)平成 29 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ドッグトレーニング応用	トレーニング技術の向上とともに、上位のGBP試験合格を目指す。犬と人間との共生に関わる活動を実践する。	2通	30	1	△		○	○			○	
	○		パブリシティ一実習	イベント企画、広報、広告制作など、店舗運営に必要な情報発信や顧客の心をつかむ活動について学ぶ。	1・2通	30	1		△	○	○			○	
	○		猫学	猫種ごとの歴史、飼育方法、習性、形態についての知識を身につける。	1・2通	30	1	○			○			○	
	○		学外実習	ペットショップ、美容室、動物病院等でプロの直接指導による業務経験を通じ、現場で必要とされる技術やサービスの実地を知ることで今後の学習目標および重点学習項目をより実践的に捉えなおす機会とする。	1・2通	120	4			○		○			○
	○		総合実習	内定先のペットショップ、美容室等において、課題を提示してもらい、現場で実習を行って課題を達成することをもって、卒業研究に代える。	2後	150	5			○		○			○
	○		卒業研究・制作	2年間の学習の集大成として、習得カリキュラムに関連したテーマを選び、論文作成あるいは制作を行い、プレゼンテーションを実施する。	2後	150	5		△	○	○			○	
合計			22 科目		1860 単位時間(62 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件:62 単位以上の単位取得 履修方法:【必修科目】43 単位【選択必修科目】19 単位 単位制履修に関する留意事項 ①30 単位時間を 1 単位とする。1 年間に取得できる単位は最大 45 単位までとする。 ②単位数が 2 以上の科目は、30 単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。